資料４

Ｈ２９年度のＷＧにおける検討内容について

**市町村において高次脳機能障がいの個別事例検討を促進するためのHOW TO集の作成**

**◆概要**

　　困難事例に関する検討は、既にどの市町村でも実施されているが、高次脳機能障がいに特有の課題（中途障がい故の障がい受容への寄り添い、疾病教育[家族も含め後遺障がいに関する正しい知識の習得・病識の獲得]に向けた医療機関との連携、介護保険被保険者に係る関係機関との連携体制）を踏まえた事例検討は、まだそんなに進んでいないと思われる。

　　そのため、支援連携ツールも活用し、市町村における事例検討を活性化するためのHOW TO集の作成を行う。

◆WG委員案：

【高次脳機能障がいの支援実績のある事業所】

３事業所程度

【高次脳機能障がいの治療実績が多く、本人・家族支援に取組まれている医師又はMSW】３名程度

【高次脳機能障がいの事例検討に関し先行的な取組のある市町村（基幹相談支援C含む）】3か所程度

【高次脳機能障がいの支援実績のあるケアマネジャー】

2名程度

◆HOW TO集　構成案

　①事例検討の進め方例

②事例検討の具体例

③市町村における先行取組の紹介

④高次脳機能障がいの課題ごとのあるべき連携例